

地方創生SDGs官民連携 プラットフォーム 企業版ふるさと納税分科会
企業と地方公共団体との地域別マッチング会 in神奈川

秦野市 森林資源循環サイクル構築のための 「森林・里山の活用アクションプラン」

令和6年2月21日

神奈川県秦野市

政策部 総合政策課

環境産業部 森林ふれあい課

秦野市の紹介

秦野市は、神奈川県の中央西部に位置し、東京から約60km、横浜からは約37kmの距離にある、「水とみどり」豊かな都市です。

基本情報

人口:161,226人(令和5年12月1日現在)

面積:103.76m²

特徴

● 神奈川県内唯一の盆地

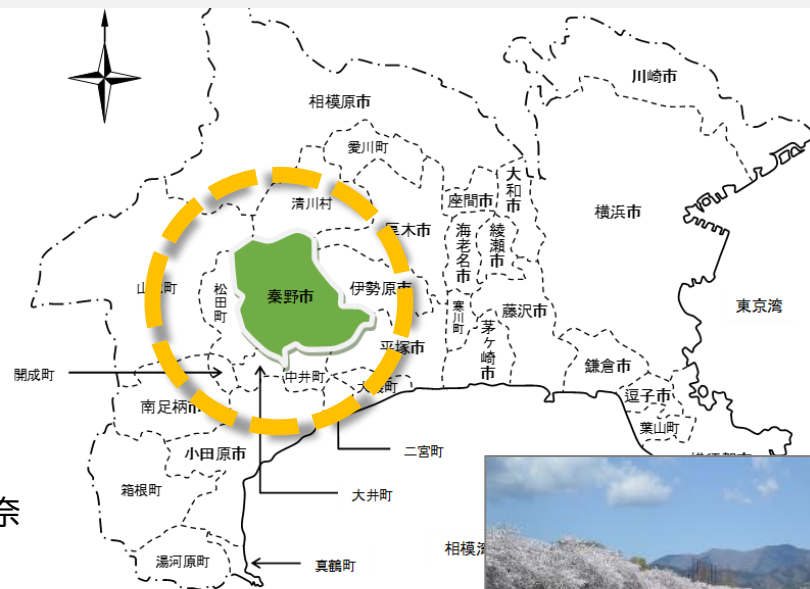
市の北方には丹沢連峰が、南方には渋沢丘陵が広がる、山で囲まれた神奈川県内で唯一の盆地です。

● 全国名水百選

市内各所から湧き出ている丹沢で育まれた湧水は環境省「名水百選」の一つに選ばれています。この名水によるボトルドウォーターは、環境省「名水選抜総選挙」の「おいしさがすばらしい名水部門」で全国第1位となっています。

● 「葉たばこ」の名産地

かつて、秦野は「葉たばこ」の産地として知られ、秦野の葉たばこは「日本三大銘葉」の一つに数えられていました。現在は、市内での葉たばこ耕作は終了し、毎年9月に開催される「秦野たばこ祭」にその名が残っています。



秦野市の寄附対象事業【“住んでみよう・住み続けよう”秦野みらいづくりプロジェクト】

都市像「水とみどりに育まれ 誰もが輝く 暮らしよい都市(まち)」の実現に向けた総合計画リーディングプロジェクト「“住んでみよう・住み続けよう”秦野みらいづくりプロジェクト」に位置付けがある事業を対象に寄附を募集しています。

基本目標1

健康で安心して暮らせるプロジェクト

- 水とみどりを育む取組みの推進
- 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進
- 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進
- 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進



基本目標2

未来を拓く子育て・教育プロジェクト

- 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進
- 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進
- 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進
- 市民総ぐるみによる学校給食の推進



基本目標3

小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

- 温泉を生かしたにぎわい創造の推進
- 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進
- 文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進
- 丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進



基本目標4

新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

- 表丹沢魅力づくり構想の推進
- 地域特性を生かした企業誘致の推進
- 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進
- 国道246号バイパス(厚木秦野道路)早期全線事業化・整備の促進



基本目標5

新たな日常創造プロジェクト

- 新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進
- デジタル化の推進

横断プロジェクト

移住・定住活性化



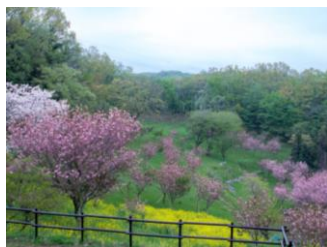
これまでの寄附実績

秦野市では、これまでに延べ15社の企業様から御寄附いただいております。

また、令和5年度からは、企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用した企業人材の受入を行っています。

寄附活用事業の一例

基本目標1 健康・安心



ふるさとと里山整備事業

- 里山林の整備を通じた森林の公益的機能の向上等を目的
- 本市西側に位置する頭高山周辺の森林及び散策道の整備

基本目標4 新東名・246バイパス




表丹沢ツーリズム(仮称)ブランドの確立等

- 表丹沢等に点在する資源を最大限に活用
- 地域への愛着や誇りの醸成、関係人口創出等へ向けたブランディング、基盤整備

基本目標3 4駅周辺のにぎわい創造

商業デジタル化推進事業

- 令和5年度から企業版ふるさと納税(人材派遣型)により、企業人材を受入
- 電子地域通貨導入に向けた調整、調査、研究等
- 本市が進める電子地域通貨の導入に向けて、企業人材の知識、ノウハウを生かし、公民連携による取組の充実・強化



森林資源循環サイクル構築のための
「森林・里山の活用アクションプラン」について

秦野市 森林・里山の活用アクションプラン

課題

- ・里山林（広葉樹）の整備の遅れ
（森林の管理割合：針葉樹72%、広葉樹56%）
- ・大径木化によるナラ枯れ被害、鳥獣被害
- ・健全な森林・里山づくりが停滞している

目標

- ・森林整備と木材活用の持続可能な循環サイクルの構築
- ・循環サイクル構築による森林・里山の健全化
- ・カーボンニュートラルの実現

循環サイクルのイメージ

森林・里山の整備

現行の育樹関連事業

- ✓ 市民による森林づくり
- ✓ 育樹事業の開催
- ✓ 里山ボランティア養成研修
- ✓ 里山連絡協議会
- ✓ 里山協力隊
- ✓ 造林補助事業
- ✓ 民有林補助事業
- ✓ 地域長期施業受委託事業
- ✓ ふるさと里山整備事業
- ✓ 水源の森林づくり事業

現行の植樹関連事業

- ✓ 市民による森林づくり
- ✓ 植樹祭の開催
- ✓ 造林補助事業
- ✓ 民有林補助事業
- ✓ 地域長期施業受委託事業



森林観光都市の実現

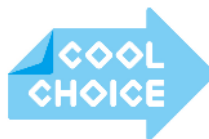
森林・里山の資源が循環する

活樹

森林・里山の活用

活樹を促進するために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



主なアクション

- アクション①
生涯を通した木とのふれあい（針葉樹）
- アクション②
健全な里山づくり（広葉樹）

針葉樹
（建築資材など）



広葉樹
（薪・ホダ木など）



アクション①：生涯を通した木とのふれあい（針葉樹）

	乳幼児		小学生・中学生			成人			高齢者	
	出生時	未就学児	6・12歳	12歳	15歳	婚姻時	随時		90歳夫婦	101歳以上
実施予定	令和6年度	令和6年度 (単年)	令和7年度以降	令和7年度以降	令和6年度	令和6年度	令和6年度	令和6年度	令和6年度	令和6年度
物品 (案)	ヒノキ玉 (もりりんを印字)	木のおもちゃ (つみき・パズル等)	入学・卒業 記念定規	学習机天板	卒業証書	ペアコースター	丸太ベンチ・イス	戸籍届出受理証明(婚姻等)、表彰状、感謝状等	敬老記念品① (フォトフレーム)	敬老記念品② (千支の置物)
対象者数	約1,000名	43か所	約2,400名	約1,300名	約1,300名	約1,200組	各20台	随時	約40名	約75名
概要	出生届提出時	こども園・幼稚園などに木製おもちゃを配付する。	入学・卒業時※6年生の天板を活用	ヒノキ天板拡大(全校6年生)	中学卒業時※秦野産木の紙	婚姻届提出時	学校、公共施設等に設置する。	記念となる証明・賞状等に秦野産木の紙を活用する。	夫婦や家族、孫などの写真を飾れるフォトフレームを贈呈する。(1組1個)	その年の千支の記念品を贈呈。(108歳で自分の千支、112歳で十二支が揃う)
関連課等	戸籍住民課	保育こども園課 教育総務課	教育総務課 各小学校		教育総務課 各中学校	戸籍住民課	設置希望施設 所管課	戸籍住民課ほか	高齢介護課	
現行事業	なし	なし	なし	東小(3,4年生) 北小(6年生) 上小(全学年)	卒業証書(厚紙 27cm*39cm)	なし	なし	なし	湯飲み (5千円相当/2個)	お茶 (3千円相当)
各課の取組み	木とのふれあいを推進するため、各課の取組みの中で木材を活用する。									

○木製品 (例)



ヒノキ玉



積み木



学習机天板



記念定規



木の賞状



ペアコースター



丸太ベンチ



丸太イス



千支の置物

アクション②：健全な里山づくり（広葉樹）

◆課題

- クヌギやコナラなどが良質な肥料や薪として葉たばこ栽培に利用されることで里山の雑木林が保全されてきたが、葉たばこ栽培が終了して里山が活用されなくなり放置されてきたことで、広葉樹が大径木化し、樹木が枯れるナラ枯れ被害や鳥獣被害などが発生している。

◆目的

- 広葉樹を薪・ホダ木やウッドチップ舗装などに活用することで、森林の循環サイクルを構築し、かつてのきれいな里山の風景を取り戻すとともに、ナラ枯れや鳥獣被害対策を促進し、森林観光都市の実現を図る。

◆事業概要

広葉樹林整備活用事業補助金

- 秦野市森林組合に対し、広葉樹林を整備するための補助金を交付し、森林の一体的な整備を図る。
- 毎年、新たな施業地の広葉樹林を伐採し、ホダ木に適した太さに生育する約20年間で森林循環のサイクルを築く。

【広葉樹林の循環サイクル】 ※毎年、補助単価等を見直し、最大20年の補助とする。

施業地	1年目	2年目	3年目	～	20年目	21年目
No.1	伐採・搬出	下刈	下刈	(補植)		伐採 ホダ木生産
No.2		伐採・搬出	下刈			
No.3			伐採・搬出			
～	ホダ木生産までの伐採木は薪として活用					
No.20					伐採・搬出	下刈

里山林整備事業

- 自然公園などの散策路周辺について、危険なナラ枯れ被害木の伐採や、景色を良くするための修景伐採、伐採した木材を活用してウッドチップ舗装などを整備する。
- 散策者の安全を確保するとともに、丹沢山系のやまなみや海などの景色が望めるようになり、観光地としての魅力が向上することで、人の流れを確保し、鳥獣を寄せ付けない環境と森林観光都市の実現を図る。



整備前



整備後



ウッドチップ舗装

お問合せ先について

- **政策部 総合政策課(企業版ふるさと納税全般に関するお問い合わせ)**
電話:0463-82-5101(直通)
メール:seisaku@city.hadano.kanagawa.jp
- **環境産業部 森林ふれあい課(「森林・里山の活用アクションプラン」に関するお問合せ)**
電話:0463-82-9631(直通)
メール:shinrin-f@city.hadano.kanagawa.jp

秦野市ホームページで、企業版ふるさと納税に関する情報発信しています。

<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1637888095412/index.html>

